

2013年6月4日

株式会社みずほコーポレート銀行

## 南アフリカ共和国貿易産業省との業務協力協定の締結について

株式会社みずほコーポレート銀行(頭取:佐藤康博)は、南アフリカ共和国貿易産業省(The Department of Trade and Industry、以下「DTI」)との間で、本日、南アフリカ共和国・日本の相互投資促進を目的とした業務協力協定(以下「本協定」)を締結しました。

本協定は、両国間の投資・取引における発展、並びに経済・産業協力の促進を狙いとしており、具体的には、日本企業の南アフリカ進出サポート、現地企業との合弁会社設立サポート、M&A等の支援強化を目的にしています。

南アフリカ共和国は、金、プラチナなどの貴金属、マンガン、クロムといった鉱物資源が豊富に存在し、BRICSの一角としてアフリカ地域で最大の経済規模(2012年の名目GDP:約3,843億ドル)を誇っています。また2012年のGDP成長率は2.5%と近時着実にプラス成長を実現する等、アフリカ地域成長のハブとしてプレゼンスが高まっています。

そのため、資源・インフラ関連分野のビジネスチャンス取り込みや、サブサハラ地域<sup>※</sup>への進出の足がかりとして、欧米や中韓などの外国企業の進出が増加しており、日系企業も自動車産業、エレクトロニクス、建設機械、プラントメーカー等の製造業を中心に100社を超え、今後更に増加していく見込みです。 ※サハラ砂漠以南のアフリカ地域

当行は本協定を通じ、みずほ銀行をはじめとする他のグループ各社と一体となり、南アフリカで事業を展開するお取引先のニーズに対して、幅広くサポートしていきます。

以 上